

科目名 Subject	フェイシャルエステⅢ Facial EstheticsⅢ		教員名	エステチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	○
科目の概要	皮膚の基礎知識とフェイシャルエステティックにおける電気機器の効果、禁忌事項、使用方法を学ぶ。さらに上記を習得したうえでモデルにあったメニュー組み立てのためのカウンセリング方法を行う。				
授業の目標	エステティシャンセンター試験において必須である皮膚の知識を学ぶことによってエステティシャンセンター筆記試験のための基盤を作る。またカウンセリングを正確に理解することにより高齢者も含めた異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデルに適したメニューを選択、決定、実行できるようになる。本科目を履修することにより、エステティシャンセンター試験における皮膚科学、実技試験における電気機器の使用や選択とフェイシャルカウンセリングを習得し実践できるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を確認し、教科書等で予習すること。授業では教科書等の内容が理解されていることを前提として、実技の説明や授業を行います。				
教科書・教材	教科書	新エステティック学（日本エステティック協会テキスト）			
	教材	フェイシャル実技教材			
	使用設備・備品	フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	実技試験、筆記試験、授業を通しての学習意欲。平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む）試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	エステティックの資格を取得する為に必要な科目であることから授業時間数の90%を下回る出席率の場合は資格取得の為の受験が出来ないので注意すること。授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。※先修科目の履修と単位認定が必要				
本科目履修と関連する資格	資格名	日本エステティック協会 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 上級エステティシャン			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	カウンセリング①（異年齢への理解）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	エステティック基礎理論Ⅱ（カウンセリング）の復習をしておく
第2回	カウンセリング②（カルテ記入方法の理解）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	前回の復習と予習：新エステティック学実技編の肌質が違うモデル別カルテ記入方法の確認を行う
第3回	カウンセリング③（カルテ記入の実践）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	前回の復習と予習：新エステティック学実技編の年齢別モデル別カルテ記入方法の確認を行う
第4回	カウンセリング④（カルテ記入の確認）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢、生活習慣の違いや肌質を確認を行う
第5回	カウンセリング⑤（カルテ記入の応用）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第6回	カウンセリング⑥（異年齢の方へのカルテ作成）	高齢者を含んだ異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデル別カルテ記入方法を習得し作成できる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第7回	カウンセリング⑦（作成してカルテの活用）	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第8回	カウンセリング⑧（アドバイスの理解）	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第9回	カウンセリング⑨（アドバイスの実践）	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：様々な方へのカウンセリング手順とカルテ記入方法の確認を行う
第10回	カウンセリング⑩（カルテ記入の実践とアドバイス）	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：様々な方へのカウンセリング手順とカルテ記入方法の確認を行う
第11回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パック①（手順の理解）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第12回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パック②（手順の確認）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第13回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パック③（手順の実践）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第14回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パック④（手順の練習）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第15回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パック⑤（手順の応用）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ディープ～機器～マッサージ～パック⑪（手順の応用とチェック）	試験と同様の内容の技術を一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第17回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第18回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第19回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第20回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第21回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第22回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第23回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第24回	実技試験模擬	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第25回	レベルチェック	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができるようになる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第26回	レベルチェック	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができるようになる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第27回	技術まとめ	センター試験の内容に沿ってフェイシャル実技試験を行い、自分の弱点を知り改善することができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技チェックでの振り返りをまとめる
第28回	技術まとめ	センター試験の内容に沿ってフェイシャル実技試験を行い、自分の弱点を知り改善することができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技チェックでの振り返りをまとめる
第29回	授業のまとめ	技術のまとめの結果を踏まえ、反省、改善し、実力を高め、技術を行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技チェックでの振り返りをまとめる
第30回	授業のまとめ	技術のまとめの結果を踏まえ、反省、改善し、実力を高め、技術を行うことができる。	前回までの復習と授業のまとめ（反省点、改善点を整理し、確認する）